

## ●使用材料・使用器具

## 使用材料

|            |         |
|------------|---------|
| キクスイ       | 15kg/缶  |
| プライマースーパーE |         |
| グラナダ弾性     | 20kg/缶  |
| 専用骨材3厘     | 20kg/紙袋 |

## 使用器具

|      |           |
|------|-----------|
| 計量   | 秤         |
| 下塗り  | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | リシンガン又はコテ |
| 模様塗り | スタッコガン    |
| 模様付け | コテ        |

## ●標準施工仕様

(20℃、65%RH)

| 工程         | 使用材料                                    | 調合<br>(重量比) | 所要量<br>(kg/m <sup>2</sup> ) | 塗り<br>回数 | 工程間隔時間(hr) |              | 備考                                       |
|------------|-----------------------------------------|-------------|-----------------------------|----------|------------|--------------|------------------------------------------|
|            |                                         |             |                             |          | 工程内        | 工程間          |                                          |
| 下塗り        | キクスイ プライマースーパーE                         | 15kg<br>無希釈 | 0.1～0.19                    | 1        |            | 3以上          | エアレススプレー等                                |
| 基層塗り       | グラナダ弾性                                  | 20kg        | 0.8～1.0                     | 1        | －          | 6以上          | リシンガン<br>口径：4～6mm<br>吹圧：0.5～0.6MPa<br>コテ |
|            | 清水 吹付け塗り                                | 1～2kg       |                             |          |            |              |                                          |
| 模様塗り       | グラナダ弾性                                  | 20kg        | 2.0～2.5                     | 1        | －          |              | スタッコガン<br>口径：8～10mm<br>吹圧：0.5～0.6MPa     |
|            | 専用骨材3厘                                  | 10kg        |                             |          |            |              |                                          |
|            | 清水 吹付け塗り                                | 0.4～0.6kg   |                             |          |            |              |                                          |
| パターン<br>付け | 材料を大玉模様吹き放し後、角ゴテで凸部を横方向にしごく感じでパターン付けする。 |             |                             |          |            | 追っかけ<br>模様付け | コテ(押え)                                   |
| 養生撤去       | 養生シートなどの撤去を行う。                          |             |                             |          | －          | 直後又は<br>乾燥後  |                                          |
| 最終養生       | 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。              |             |                             |          | －          | 24以上         |                                          |

## ●標準施工要領

## 1. 下塗り

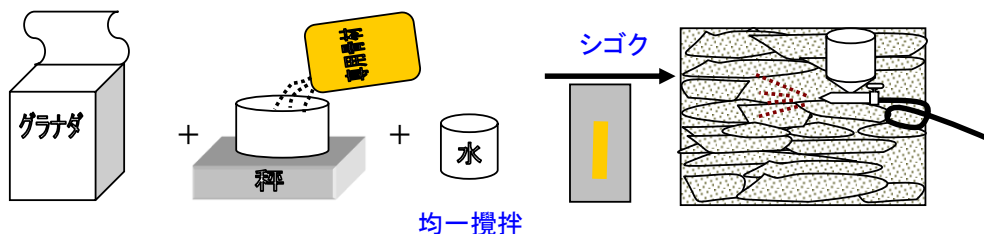
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

## 2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

## 3. 模様塗り

- ①主材は定められた仕上りになるように指定された骨材と清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を大玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



## 4. パターン付け

- ①標準として、角ゴテシゴキのパターン付けは、模様塗り後、追っかけで横方向に行う。
- ②時々コテを水で清浄にし、引きムラをつくらないように作業する。
- ③パターンは、壁全体のバランスも考慮してコテで整える。

## 5. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。